

# 禁煙サポート外来の 現状と今後

○寺山鈴子 大迫千穂子 蕨野真由美  
藤崎淳一郎 （宮崎県健康づくり協会）

# はじめに

平成18年4月1日からニコチン依存症に対する  
禁煙治療は保険適用となる



適用には4つの条件を満たすことが必要



問診項目を追加

これまでの結果のまとめ



禁煙できなかった者の問題点は何か  
今後の支援のあり方を検討

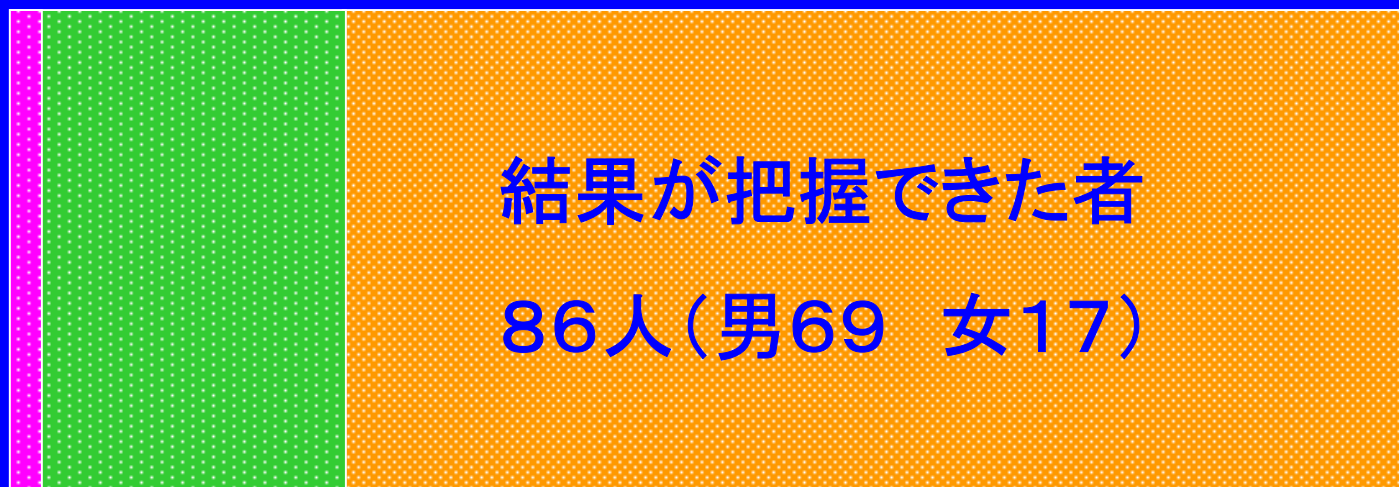
# 保険給付のための条件

- 1 直ちに禁煙しようとしている
- 2 ニコチン依存症のスクリーニングテストが  
5点以上
- 3 ブリンクマン指数(1日喫煙本数×喫煙年数)が  
200以上
- 4 禁煙治療を受けることを文書により同意している

# 対象

H13年12月～H18年3月の  
成人の受診者 102人(男81 女21)

未導入 3人(男1 女2)



結果不明 13人(男11 女2)

# 方法

外来でのサポート終了時に

禁煙できている者 → 成功群

禁煙できなかった者 → 失敗群

## 比較項目

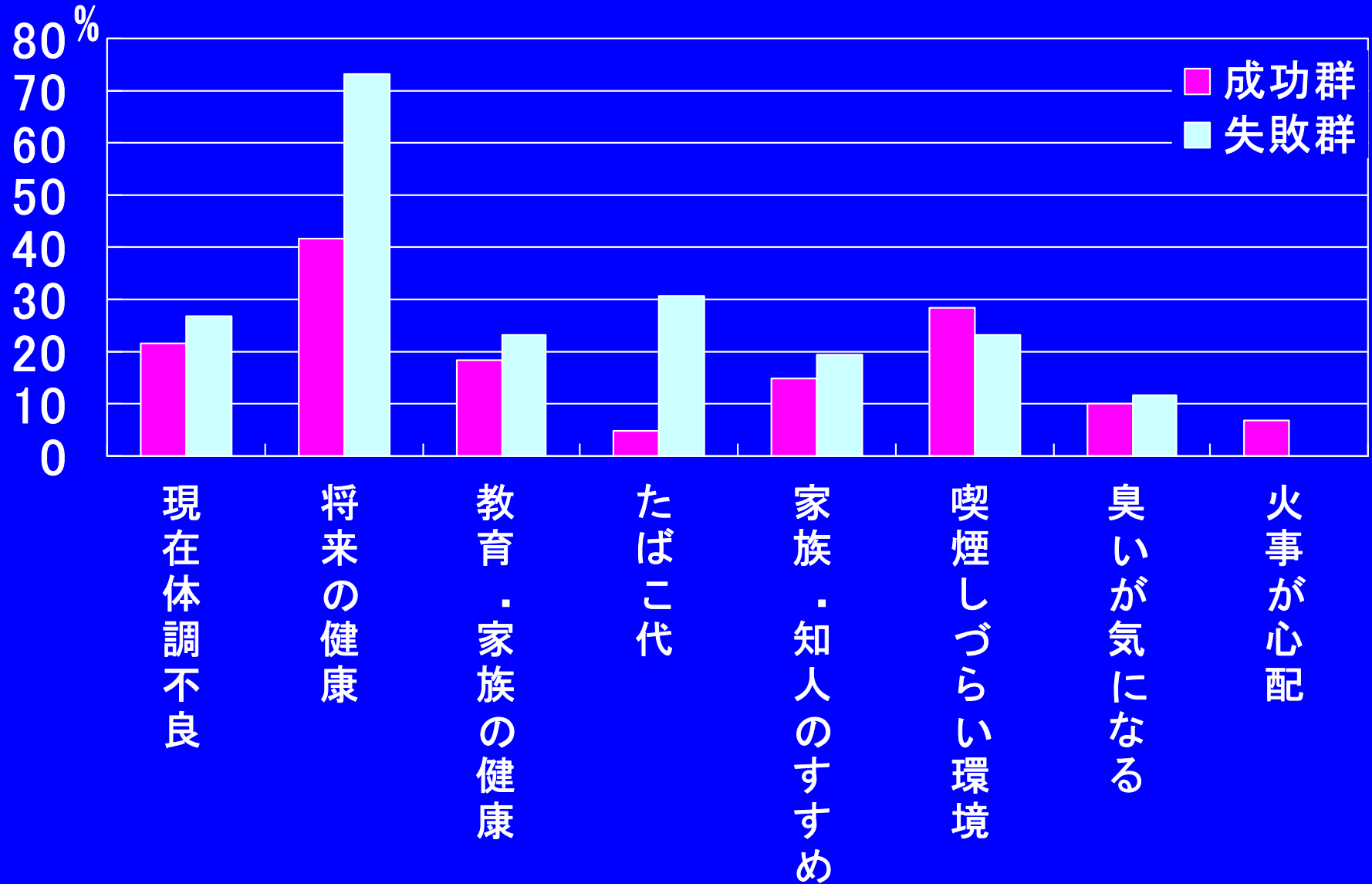
基本属性、喫煙歴、ニコチンパッチ処方状況

初診時間診等

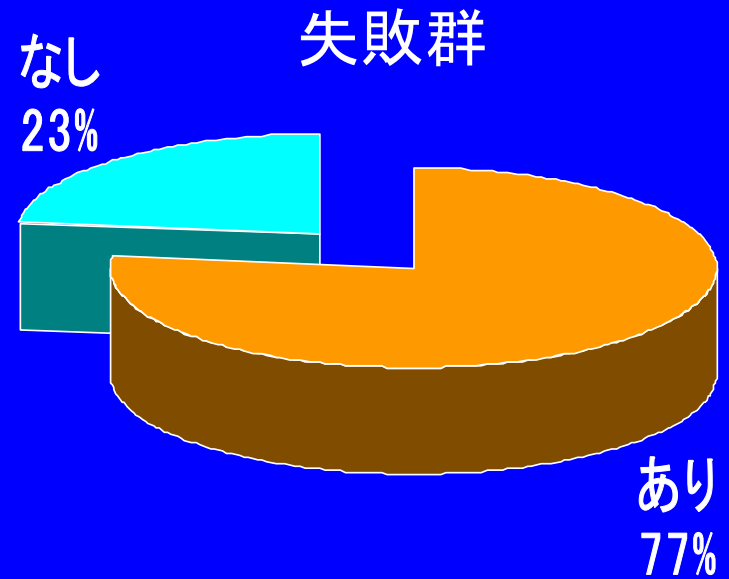
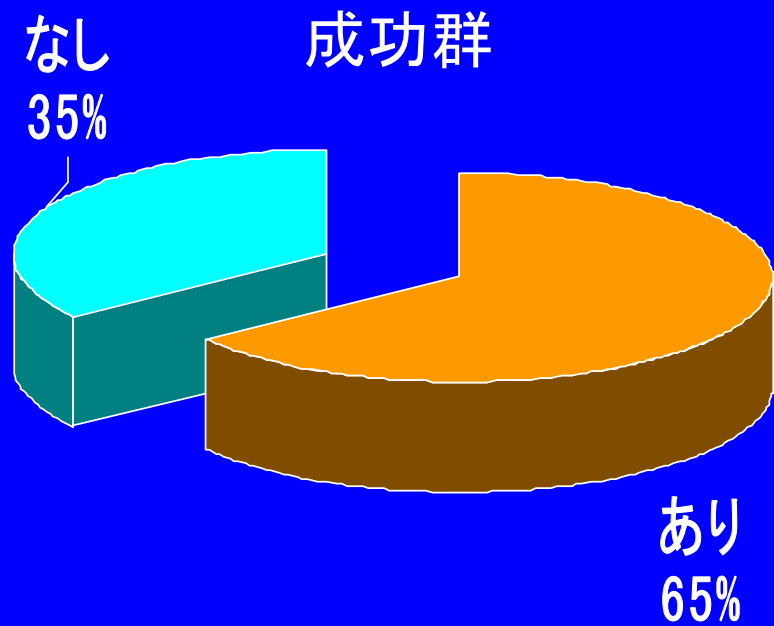
# 結果

変数	カテゴリー あるいは代表値	成功群 (n = 60)	失敗群 (n = 26)	P 値
性別	女性の割合, %	8.3	46.2	0.0001
年齢	平均 ± SD, 歳	49.2 ± 12.3	41.4 ± 8.1	0.004
喫煙年数	平均 ± SD, 年	25.7 ± 13.2	19.8 ± 9.1	0.04
呼気CO濃度	平均 ± SD, ppm	29.8 ± 14.4	32.1 ± 20.5	0.56
ファガストローム依存度指数	平均 ± SD	6.4 ± 2.2	6.4 ± 2.1	0.90
ニコチンパッチ処方枚数	平均 ± SD, 枚	28.0 ± 16.0	18.2 ± 9.0	0.004
来所回数	平均 ± SD, 回	2.2 ± 1.3	2.3 ± 1.3	0.62
電話相談回数	平均 ± SD, 回	1.8 ± 1.2	2.5 ± 2.0	0.04

# 禁煙の動機

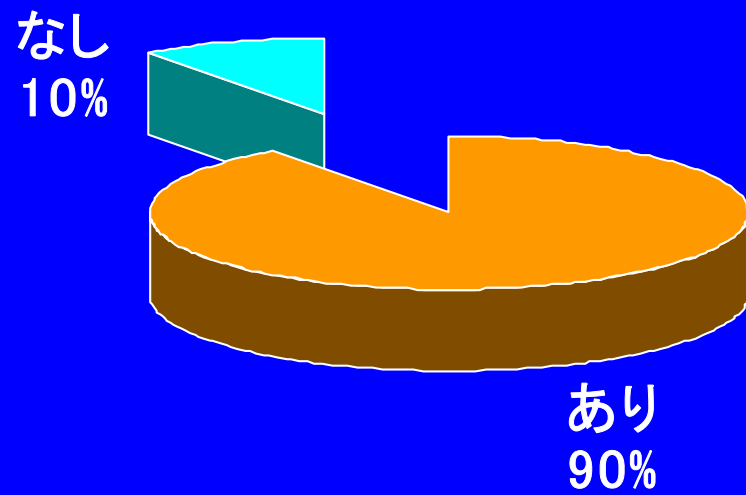


# 禁煙歴の有無

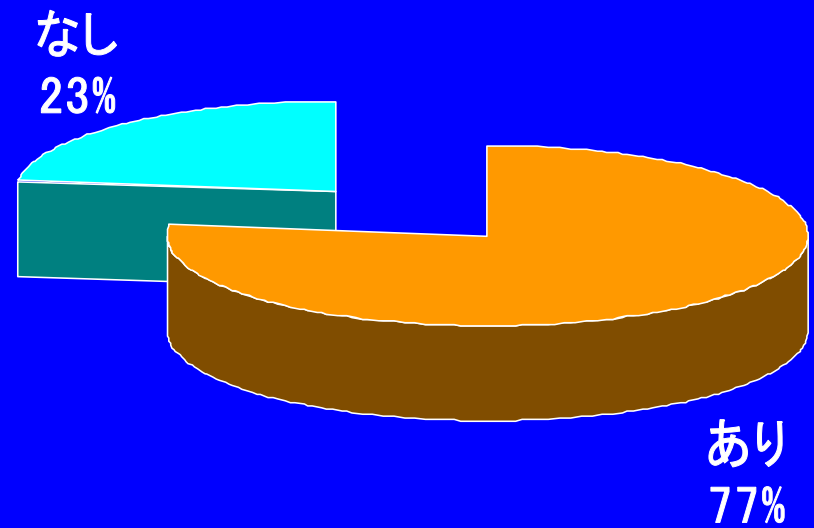


# 支援者の有無

成功群

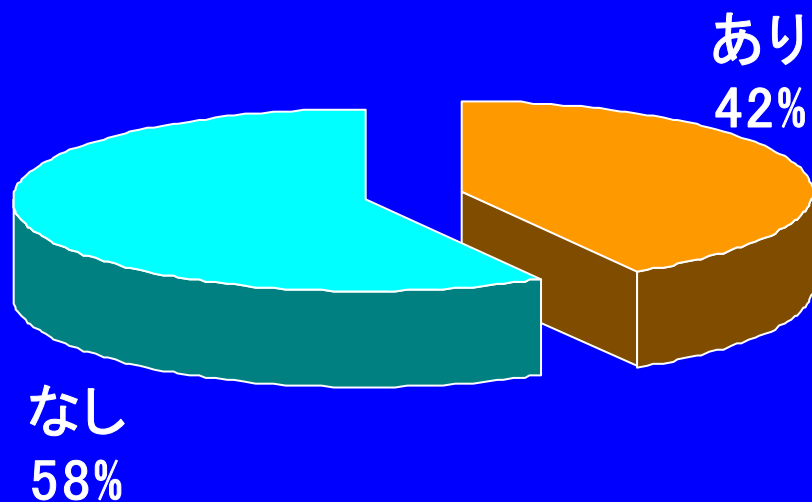


失敗群

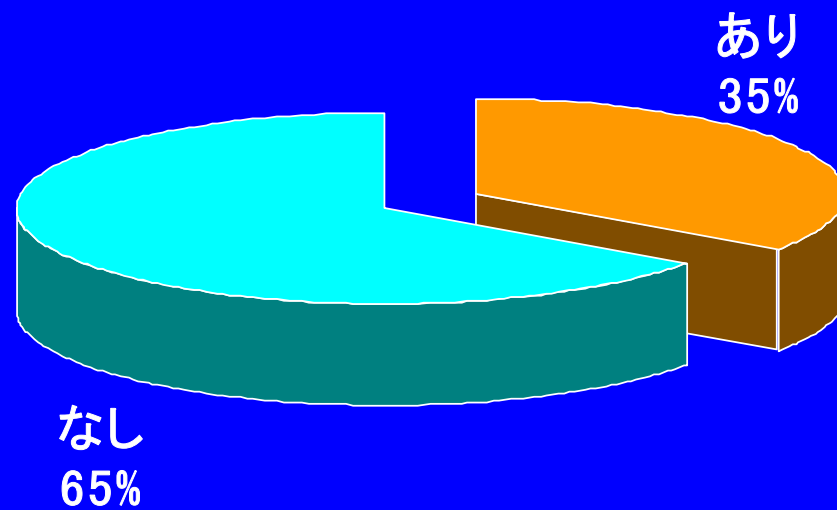


# 気になること・心配事の有無

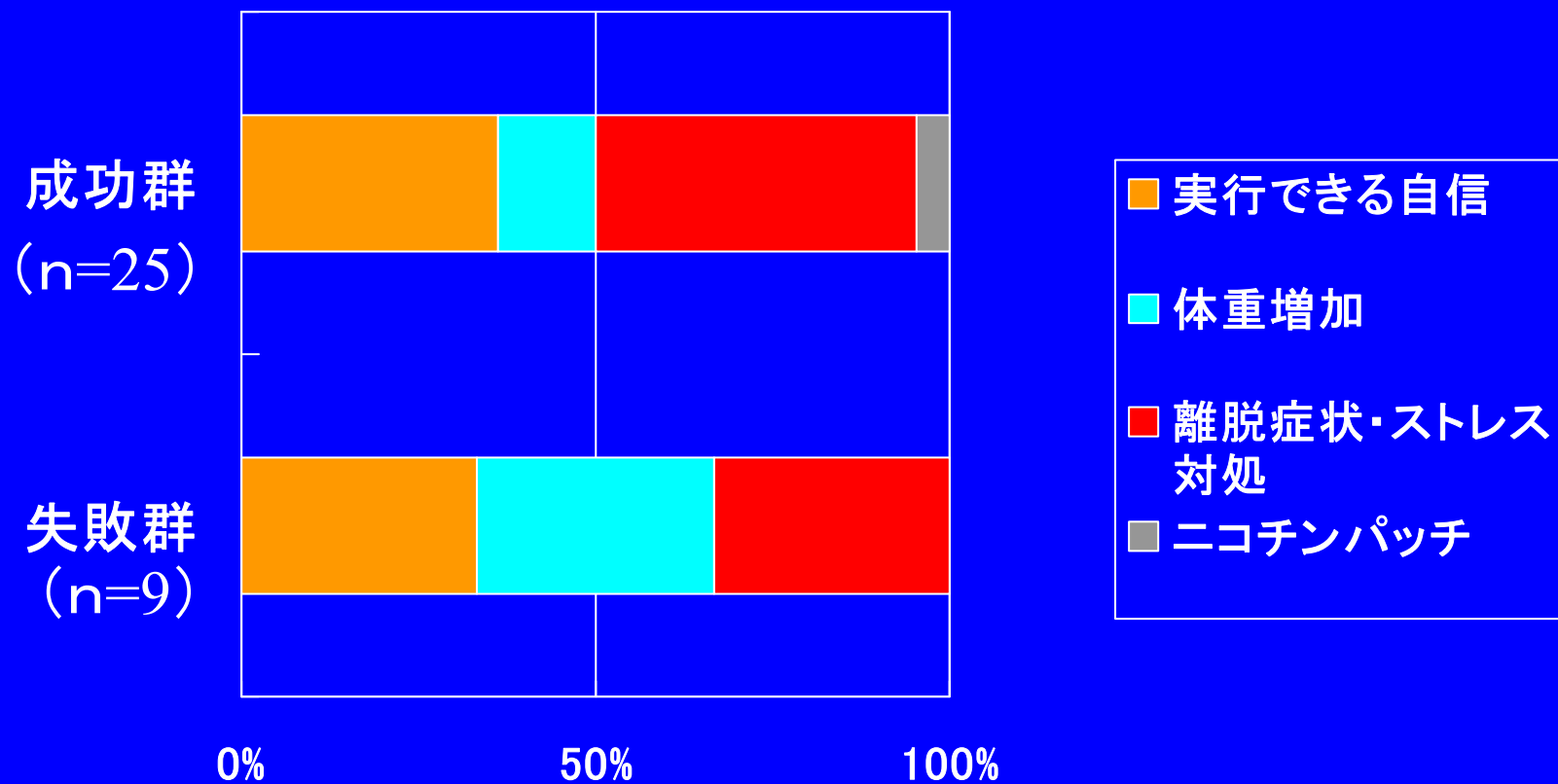
成功群



失敗群



# 気になること・心配事の内容



# 考察

## (1) 女性の禁煙について

- ・喫煙によって得られる満足度やたばこに変わるストレス発散の手段を問診に追加



喫煙の実態や禁煙の過程を調査

- ・長期的な継続に性差があるのか追跡

## (2) ニコチンパッチの使用について

失敗群は処方枚数が少ない



「毎日使用していない」  
「もう使用しなくてよい」

使用しない理由を再確認



途中で中止せず、十分  
な期間の使用を勧める

### (3) 受診の動機について

「将来の健康」は  
禁煙を支える動機として弱い



今後

禁煙の意志の強さ・どれくらい継続するのか

## (4) 禁煙の経験について

過去の失敗の原因に対する対策を  
あらかじめ相談し、決めておく



今後

吸い始めの年齢、きっかけ、  
その時の気分  
最高本数、最近の増減

## (5) 支援者の存在について

支援者の有無は禁煙成功を左右する  
ものではなかった

- ・ 支援者が必要か否かはその人次第
- ・ 周囲の人にわからないように禁煙したい
- ・ スタッフの支援を多くは望まないタイプ

## (6) 初診時の問診について

問診内容の見直し



再診時にも問診を実施

- ・自信度の変化
- ・よかったこと
- ・つらかったこと
- ・吸いたくなかった時にどう対処したか

# 終わりに

これまで

多様な受診者を支援  
支援のノウハウを得る



今 後

- ・標準禁煙治療プログラムを実施
- ・これまで得られたノウハウから、さらに効果的なプログラムの検討
- ・禁煙支援普及のための情報提供